

使用方法

Bolero



警告

怪我をしないように、製品を使用する前に必ず本使用方法及び付属の文書をよく読んでください。



本使用方法を必ずお読み下さい。

意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2019。

当社の方針の一つは継続的改善を掲げているため、当社では事前の通知なしに設計・デザインを変更する権利を留保しています。本書の内容の全部あるいは一部を Arjo の同意なしに複製することはできません。

目次

はじめに	4
使用目的	5
安全手順	6
準備	7
部品名称	8
製品説明 / 機能	10
バッテリー充電器	10
手動式上昇と降下	10
電動式上昇と降下	10
背もたれとレッグサポート	11
ハンドルバー	11
保管	12
ストレッチャー長さの調整	12
マットレス	12
安全ベルト	13
ブレーキ	15
緊急停止	15
緊急 高 / 低	15
体重計 (オプション)	16
サイドサポート (付属品)	16
患者の移乗	17
ベッドから移動	17
ベッドへ移動	19
患者の入浴	20
クリーニングと消毒の手順	21
バッテリーの挿入手順	24
点検・保守やメンテナンス	26
トラブルシューティング	30
技術仕様	32
寸法	34
ラベル	38
認証と標準規格リスト	39
電磁両立性規格 (EMC)	40
部品とアクセサリ	42

はじめに

このたびは Arjo 設備機器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

Bolero® リフト式入浴用トローリーは、病院、介護施設、その他のヘルスケアで使用されることを意図して開発された高級福祉機器製品シリーズの一つです。

Arjo 製品の操作とメンテナンスに関しては、弊社にお問い合わせください。

本取扱説明書を最後までお読みください。

Bolero リフト式入浴用トローリーを使用する前に、本取扱説明書 (IFU) を最後までお読みくださるようお願い致します。本使用方法には、製品の適切な操作とメンテナンスに必要な不可欠であると同時に、製品を保護する上で役に立ち、ご満足いただけるご利用を確かなものとする内容が記載されています。本取扱説明書の内容には、安全面で重要な情報も含まれているので、不必要な怪我を避けるためにも必ずよく読んで理解してください。

不適切な部品を使用してケガをしないように、装置および Arjo が供給した機器には、Arjo 専用部品のみを使用するよう強くお勧めします。

承認を受けずに行った Arjo 装置の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品改造が原因で発生した事故、未遂事故、機能不良について、Arjo は責任を負いません。

重大な事象

本医療機器もしくは他の福祉機器に関連して、ユーザまたは患者に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

点検・サービスとサポート

有資格サービス担当者による Bolero リフト式入浴用トローリーの定期点検を実施して、製品の安全と正常な操作を確保してください。点検・保守やメンテナンス ページ 26 のセクションを参照してください。

詳細情報が必要な場合は、包括的なサポートと、長期間にわたる安全性、信頼性、および製品価値を最大限引き出すサービスプログラムについて、Arjo までお問い合わせください。

部品交換については Arjo までお問い合わせください。お問い合わせ先情報は本取扱説明書の巻末に記載されています。

本使用方法の定義

警告

定義：安全上の警告内容の理解不足であったり、警告に従わなかった場合、他人も含みご自身も怪我をする恐れがあります。

注意

定義：手順に従わなかった場合、システムまたは製品の全体あるいは一部を損傷する恐れがあります。

注記

定義：システムまたは製品の正しい使用に関する重要な情報です。



定義：メーカー名および住所。



定義：本使用方法を必ずお読み下さい。

使用目的

本製品はこれらの安全注意事項に従って使用してください。本製品を使用する方は、本使用方法 (IFU) の手順を必ずお読みになり、理解するようにしてください。

ご不明な点は、最寄りの Arjo 代理店までお問い合わせください。

本製品は、介護施設において入居者を浴室からあるいは浴室までリフト及び移動することを意図した製品です。

Bolero は、適切な訓練を受け、介護環境、一般的な方法や手順に関する十分な知識のある介助者が、使用方法 (IFU) のガイダンスを順守して使用してください。

Bolero は本使用方法で指定された用途にのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

入居者のアセスメント

それぞれの施設において、定期的に作業評価を行って頂くことをお勧めします。

介助者はつぎのような評価基準にしたがって、使用する前に各入居者を評価してください。

- 入所者の体重は 136 kg (300 lbs) を超えてはならない。
- 入居者は、ストレッチャーで安全に横たわった姿勢を維持したり、あるいは動作が物理的に制限された結果としてそのような姿勢を維持するための指示を理解し、それに対応できる必要がある。

入居者が上記に当てはまらない場合は、別の製品/システムを使用してください。

製品想定寿命

製品は、上記の目的のためだけに使用してください。

本製品の寿命はおよそ 10 年で、安全ベルトのサービス部品の寿命はおよそ 2 年です。バッテリーの保管期間、使用頻度、充電間隔により、バッテリーのサービス寿命は 2 年から 5 年になることがあります。

記載された想定製品寿命と想定サービス寿命は、本使用方法に記載する予防メンテナンスが実施されていることを条件としています。

本使用方法に記載する製品寿命の期間中であっても、損耗の状況によっては、キャストやハンドコントロールなどの製品部品の交換が必要になることがあります。

安全手順

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕および両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

怪我を防ぐために、絶対に患者の方を一人にしないでください。

警告

身体や物が挟まったり、衝突したりするのを防ぐために、移乗する経路に障害物がないことを確認してください。

警告

落下を防ぐために、入所者が本使用方法に従った位置にあることを確認してください。

警告

爆発や火災を防止するため、酸素濃度の高い環境、熱源や可燃性の麻酔ガスが存在する場所で製品をけっして使用しないでください。

警告

装置が傾いて、患者が落下するのを防ぐため、排水溝や穴、1:50 (1.15°) を超える勾配があるフロアで装置を使用しないでください。

警告

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

警告

患者が落下するのを防止するために、安全ベルトが損傷していないことを確認してください。損傷している場合、その安全ベルトは使用せず、新しいものと交換してください。

警告

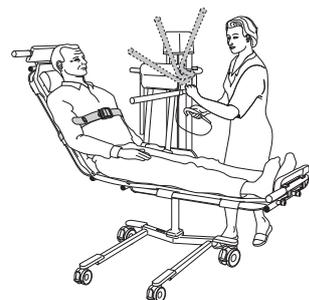
移動中に落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

警告

落下を防ぐために、利用者の体重が使用されている全ての製品あるいは付属品の安全耐荷重 (SWL) よりも軽いことを確認してください。

注記

Bolero リフト式入浴用トローリーを設置する際は、ハンドレストが動いてぶつかるような位置に立たないでください。ハンドレストは患者によって不意に上方を動いて介助者を傷つける恐れがあります。図をご覧ください。

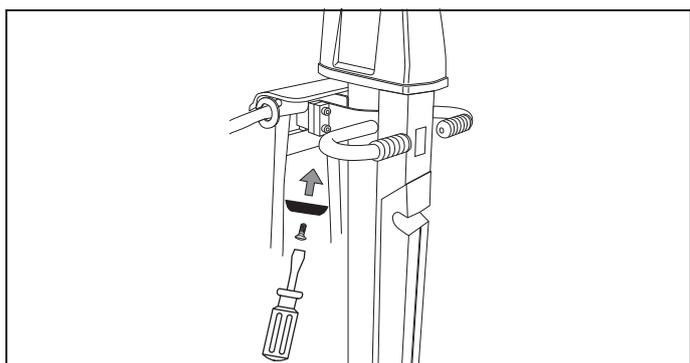


準備

初めて使用するにあたり

(9ステップ)

- 1 パッケージの損傷がないか、目視点検を行います。
- 2 梱包材は国内規制に従ってリサイクルしてください。
- 3 製品の部品がすべて揃っているか確認します。本使用方法の製品説明と照らし合わせして下さい。不足あるいは損傷している部品がある場合、製品を使用しないでください！
- 4 リフトを保管するにあたり、乾燥して換気の良い領域を確保します。
- 5 バッテリー充電器を開梱します。「バッテリー充電器の使用法」をご覧ください。
- 6 各バッテリーは 24 時間充電してください。
- 7 本使用方法のセクションクリーニングと消毒の手順 ページ 21 の説明に従って、製品を消毒してください。
- 8 付属スペーサの取り付け：
納品時に *Bolero* リフト式入浴用トローリーに取り付けられているスペーサは、Arjo 浴槽の深さに調整されています。深い浴槽の場合：もっと深くお湯につからせるには、*Bolero* リフト式入浴用トローリーに取り付けられている 2 枚のスペーサの 1 つを取り外してください。図をご覧ください。浴槽の表面を損傷しないようご注意ください。



- 9 ユーザがいつでも手に取ることができるような保管場所を指定して、使用方法を保管します。

注記

サポートとサービスに関するご質問は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。連絡先の電話番号は、本取扱説明書の最終ページを参照してください。

使用するにあたり

(4ステップ)

- 1 *Bolero* リフト式入浴用トローリーの部品がすべて揃っているかチェックします。セクション部品名称 ページ 8 と比較します。
- 2 不足あるいは損傷している部品がある場合、製品を使用しないでください！

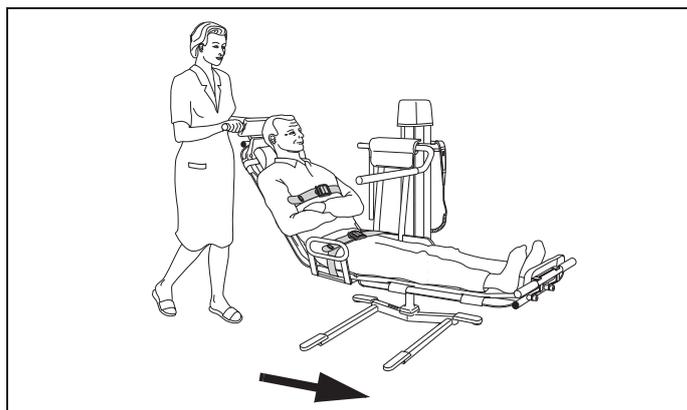
警告

二次感染を防ぐために、常に本使用方法の消毒の手順に従ってください。

- 4 バッテリーが完全に充電されていることを確認してください (*Bolero*)。

Bolero の使用法

Bolero リフト式入浴用トローリーは正しい方向に移動する必要があります。例えば、患者を移動する間はストレッチャーに沿って移動してください。



本使用方法における、製品の右または左は、下に示すとおりです。



部品名称

- 1 3パートストレッチャーおよびフレーム 
- 2 3パートマットレス
- 3 ピロー
- 4 移動ハンドル
- 5 フットレスト
- 6 背もたれ用ロックングデバイス
- 7 誘導ハンドル
- 8 ハンドコントロール（電動式）
- 9 ハンドルバー
- 10 バッテリー（電動式）
- 11 ピラー（電動式）
- 12 キャスターブレーキ（4つのキャスターすべてに
装備）
- 13 降下ボタン（油圧式）
- 14 上昇用ハンドポンプ（油圧式）
- 15 ピラー（油圧式）
- 16 サイドサポート（付属品）
- 17 安全ベルト



B 等級、適用部品：（ストレッチャーとフレームの装着部品すべてを含む）EN 60601-1 に則って感電から保護

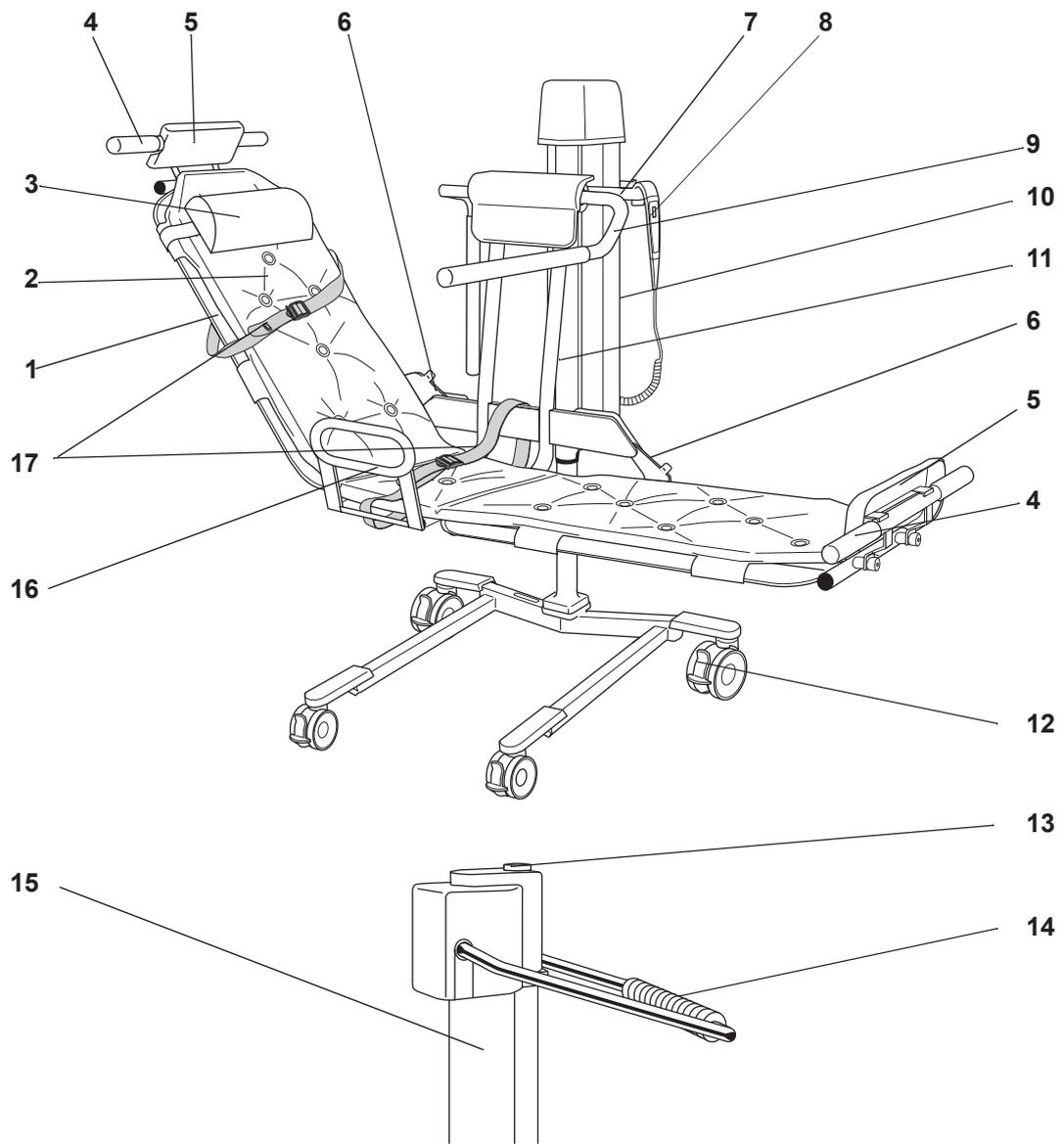
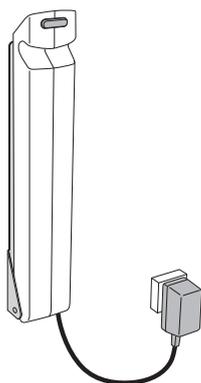


図1



バッテリー充電器

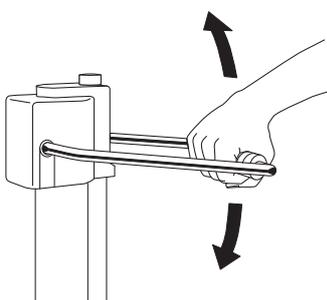
バッテリー充電器の使用方法をご覧ください。

適切な壁に充電器を取り付けた後、そのプラグを壁のコンセント（アース付き）に差し込みます。（図1参照）

機種 No. :

NDA1200-EU,
NDA2200-GB,
NDA4200-US,
NDA6200-AU,
NDA8200-INT.

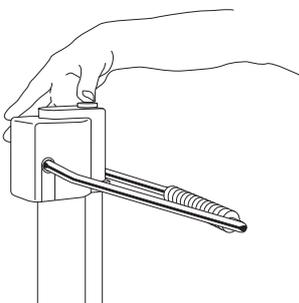
図2



手動式上昇と降下

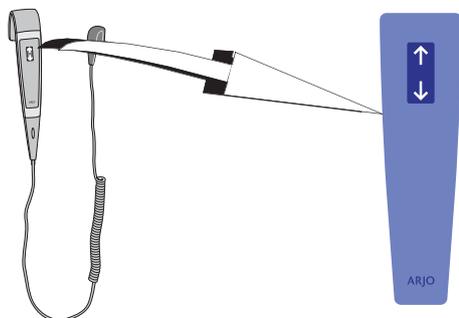
- ストレッチャーはハンドポンプを使って上昇させます。動作範囲をフルに使って一定のペースでポンピングしてください。（図2参照）

図3



- ストレッチャーを降下するには、降下ボタンを押します。（図3参照）

図4



電動式上昇と降下

ハンドコントロールのフックをホルダーから外します。（図4参照）

- *Bolero* リフト式入浴用トローリーを上昇させるには、ハンドコントロールボタンの「上向き」矢印を押します。
- *Bolero* リフト式入浴用トローリーを降下させるには、「下向き」矢印を押します。

背もたれとレッグサポート

図1

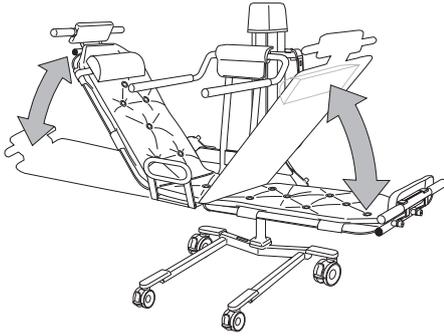


図2

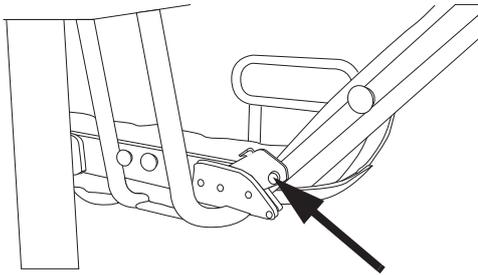
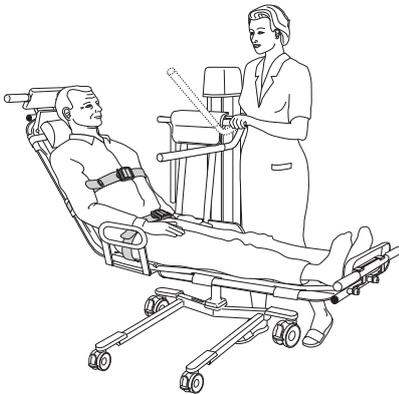


図3



警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

- *Bolero* リフト式入浴用トローリーは対称形であるため、患者のベッドの方向に応じて、両先端も背もたれとして使用できます。トローリーの変更するには、ピローを他端に移動するだけです。(図1参照)
- 留め具の1つを開放して、背もたれとして選択した側を希望する角度まで持ち上げます。背もたれの固定機構が正しい位置にあることを確認して、背もたれが固定されていることを確認してください。(図2参照)

ハンドルバー

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

Bolero リフト式入浴用トローリーには、2つの折り畳み式ハンドルバーが標準装置として装備されています。移動と入浴の間：

- 患者の腰から最長の距離にあるハンドルバーを降下してください。(図3参照)

図1

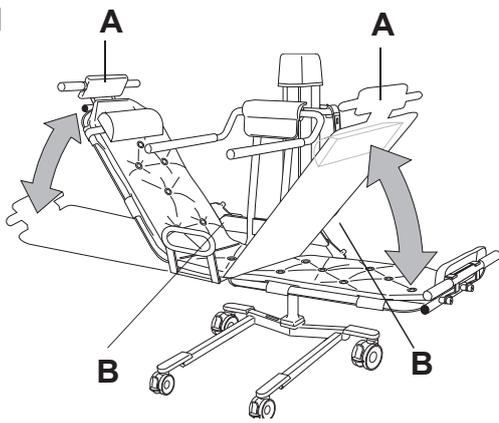


図2

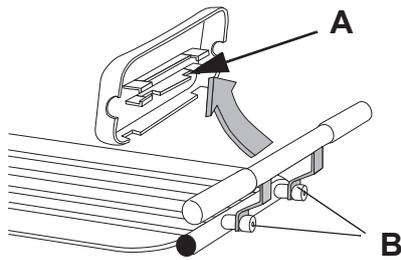


図3

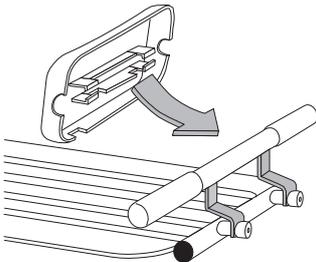
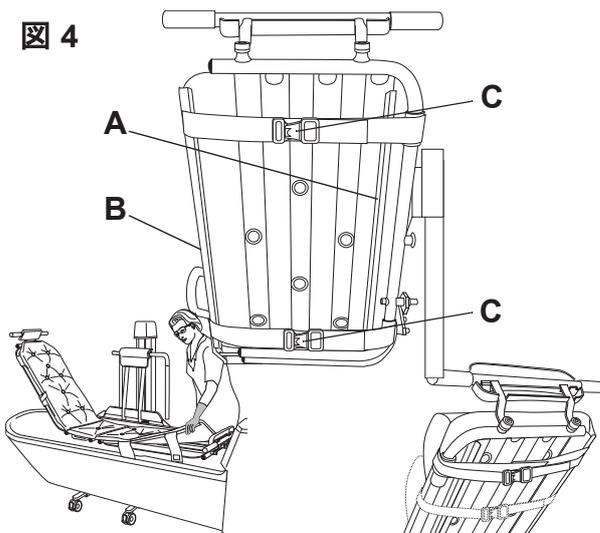


図4



保管

- 使用しないときは、ストレッチャーの両端を起し、背もたれとフットレストを上セットした状態 (A) で *Bolero* リフト式入浴用トローリー を保管してください。(図1参照)

- 背もたれとフットレストを持ち上げます。留め具 (B) が正しい位置にあって、背もたれとフットレストがロックされていることをチェックしてください。(図2参照)

ストレッチャー長さの調整

- ストレッチャーを短くする：
ヘッド/フットサポート (A) およびネジ (B) を元に戻します。(図3参照)
- サポートを180° 回転します。
ヘッド/フットサポートとネジを締め付けます。(図3参照)

マットレス

マットレスの取り付け/取り外しは、常にサイドストリップのエッジから始めてください。(図4参照)

- 取り付け：サイドストリップのエッジをストレッチャーの周囲にはめ込みます。片手で押して、もう一方の手でサイドストリップ引いて固定します。
- 取り外し：サイドストリップのエッジを外します。サイドストリップを引っ張りながら持ち上げて、マットレスを取り外します。
- 中央部分：ピラーに隣接しているサイドストリップをストレッチャーの周囲にはめ込みます。マットレスを伸ばし、もう一方のサイドストリップをストレッチャーにはめ込みます。
- 最初、マットレスのサイドストリップを油圧式ピラー (A) に隣接しているストレッチャー側の周囲に取り付けます。(図4参照)
マットレスを伸ばして、もう一方のサイドストリップ (B) を締め付けます。(図4参照)
- クイックグリップ (C) でマットレスを正しい位置に固定します。(図4参照)
- クイックグリップでピラーを締め付けます。

安全ベルト

常に安全ベルトを使用してください。

警告

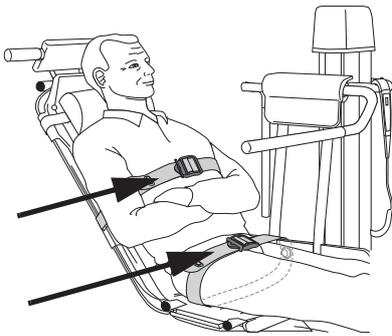
患者が落下するのを防止するために、安全ベルトが損傷していないことを確認してください。損傷している場合、その安全ベルトは使用せず、新しいものと交換してください。

警告

落下を防止するために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

Bolero リフト式入浴用トローリーは標準備品として2本の安全ベルト（胸部安全ベルトと腰部安全ベルト）を装備しています。（図1参照）

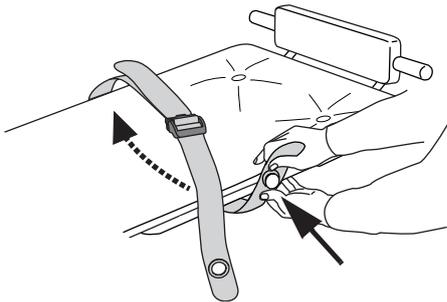
図1



(7ステップ)

- 1 患者が *Bolero* リフト式入浴用トローリーに座る前に安全ベルトを取り付けます。安全ベルトの取り付けは、アイレットをノブにはめ込んで行います。安全ベルトがマットレス上にあることを確認してください。（図2参照）

図2



- 2 患者を *Bolero* リフト式入浴用トローリーに寝かせます。ストレッチャーのサイドにあるノブを利用して安全ベルトを締め付けます。（図3参照）

図3

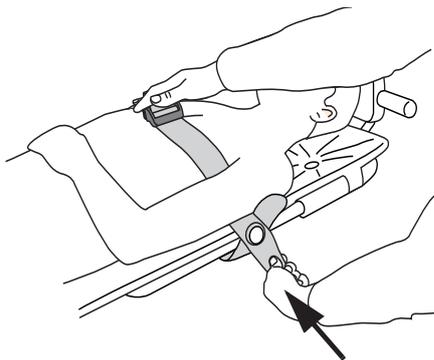
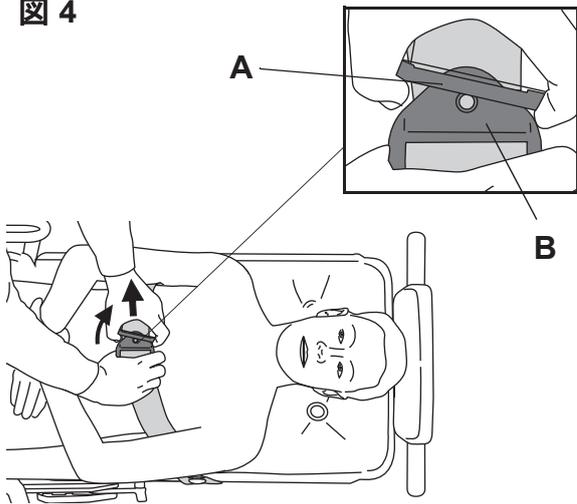


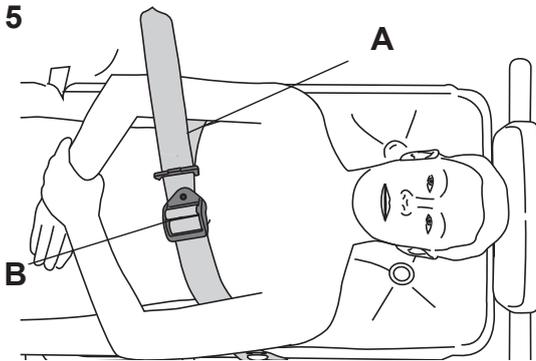
図 4



安全ベルトの調整

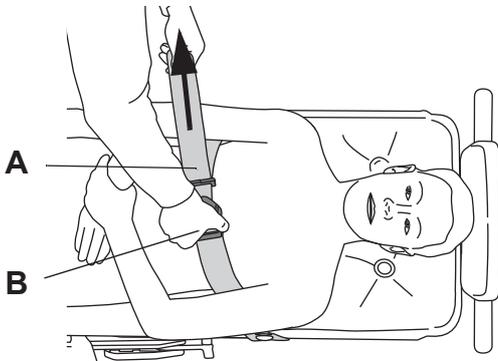
- 3 小さい方の締付けクリップ (A) をやや上に捻って、締付けクリップ (A) と (B) を分離します。(図 4 参照)

図 5



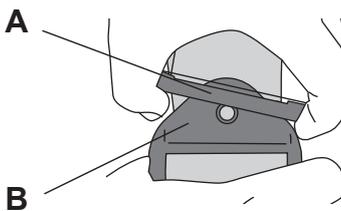
- 4 大きい方の締付けクリップ (B) を持ち上げながら、(A) 側のストラップを引いて安全ベルトを緩めます。(図 5 参照)

図 6



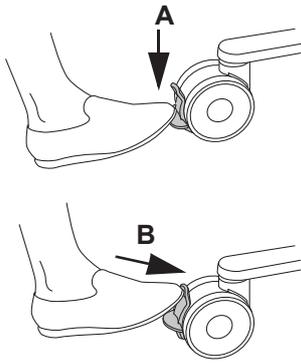
- 5 大きい方の締付けクリップ (B) を持ちながら、アウトーストラップ (A) を引いて、安全ベルトを締め付けます。(図 6 を参照)
- 6 安全ベルトが患者の体をしっかり固定していることを確認してください。

図 7



- 7 小さい方の締付けクリップ (A) を大きい方の締付けクリップ (B) に挿入して締付けクリップをロックします。(図 7 参照)

図1

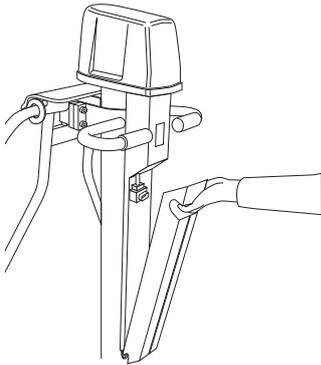


ブレーキ

キャストブレーキレバー (A) を足で踏むと、キャストにブレーキがかかります。(図1参照)

キャストブレーキレバー (B) を引き上げるとキャストのブレーキは開放されます。(図1参照)

図2

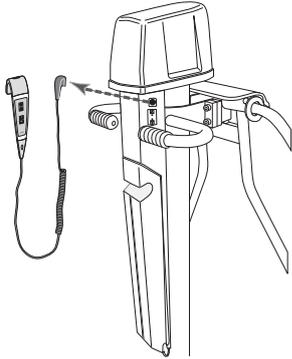


緊急停止

何らかの理由で *Bolero* リフト式入浴用トローリーがコントロールボタンに反応しない場合、バッテリー上のボタンを押して上昇動作を直ちに停止し、バッテリーを外すことができます。(図2参照)

Bolero リフト式入浴用トローリーを再使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

図3



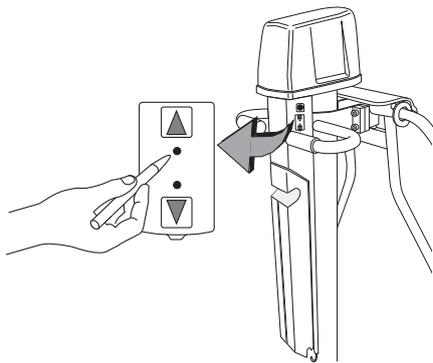
緊急 高/低

(5ステップ)

何らかの理由で *Bolero* リフト式入浴用トローリーがコントロールボタンに反応しない場合、緊急 高/低を用いて *Bolero* リフト式入浴用トローリーを上昇または降下することができます。

1 ハンドコントロールを外します。(図3参照)

図4



2 先端が尖っていない細い物体をパネルの穴に押し込み、*Bolero* リフト式入浴用トローリーを制御します(例えば、ペン)。(図4参照)

注意

先端が尖った物で穴を押さないでください。

3 *Bolero* リフト式入浴用トローリーを上昇させるには、上向き矢印の下にある穴を押します。

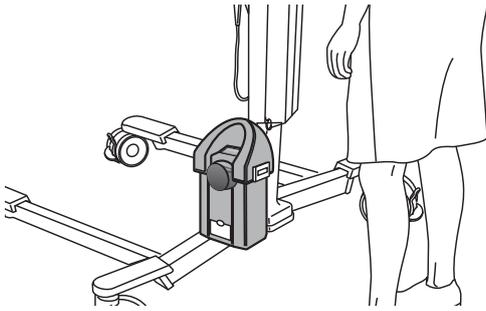
4 *Bolero* リフト式入浴用トローリーを降下させるには、下向き矢印の上にある穴を押します。

注記

上昇と降下の間、ビープ音が鳴り続けます。

5 *Bolero* リフト式入浴用トローリーを再使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

図1



体重計（オプション）

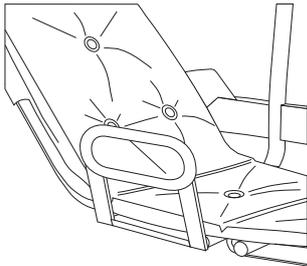
体重計はシャーシに取り付けられています。（図1参照）
フットスケール使用方法参照。

サイドサポート（付属品）

（6ステップ）

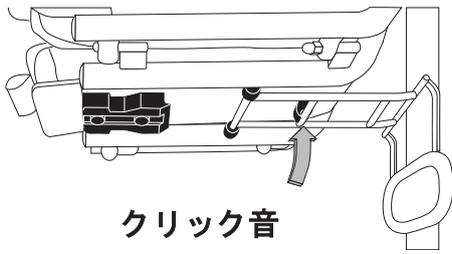
Bolero リフト式入浴用トローリーは折りたたみ式サイドサポートが装備できます。サイドサポートを使い易くするには、マットレスの中央部にあるフックとループストラップストラップをカットする必要があります。

図2



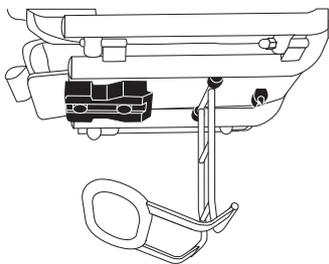
1 使用する際、サイドサポートはピラーのちょうど反対側の位置にロックします。（図2参照）

図3



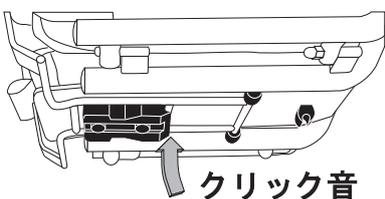
2 使用しないとき、サイドサポートはストレッチャーの下のブラケットに取り付けます。サイドサポートを使用するには：
ロック位置からサイドサポートを解放します。
（図3参照）

図4



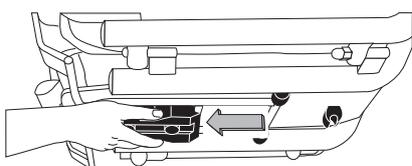
3 サイドサポートをストレッチャーの下に移動します。
（図4参照）

図5



4 ホルダーにしっかり押し込んで、*Bolero* リフト式入浴用トローリーの反対側にサイドサポートを組み込みます。（図5参照）

図6



5 組み込まれたサイドサポートをサイドストレッチャーの下に移動するには：
片手でサイドサポートを握ります。もう片方の手で、ホルダーを手前に引いて、サイドサポートをロック位置から解放します（図参照）。サイドサポートをストレッチャーの下に移動して、ストレッチャーの反対側のブラケットに取り付けます。（図6を参照）

6 サイドサポートがその2つのロック位置にしっかりと固定されていることを常に確認してください。

患者の移乗

ベッドから移動

(11 ステップ)

警告

身体や物が挟まったり、衝突したりするのを防ぐために、移乗する経路に障害物がないことを確認してください。

警告

患者や介助者の足が挟まらないように、あらゆる障害物との間に十分な距離をとってください。

図1

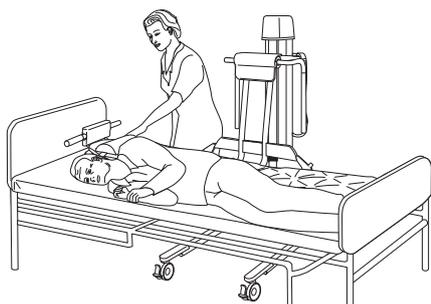


図2

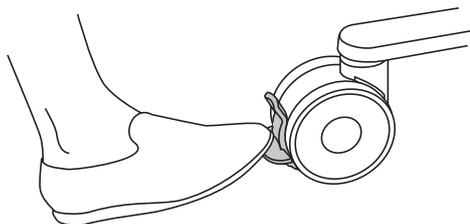


図3

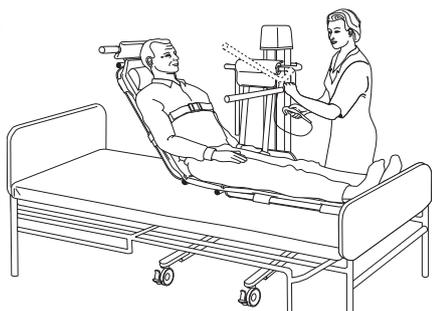
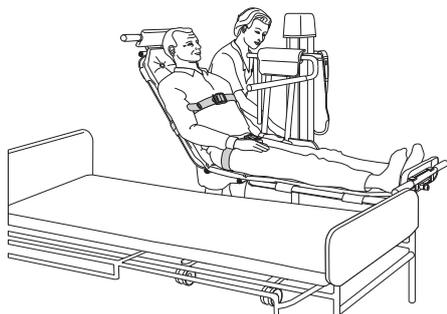


図4



- 1 *Bolero* リフト式入浴用トローリーで背もたれとして使用するのに都合の側を選び、そこにピローを固定します。
- 2 ノブに腰用安全ベルトを取り付けて、下側を通して安全ベルトがストレッチャーの上に来るようにします。
- 3 患者を横転させて横を向けさせます。

警告

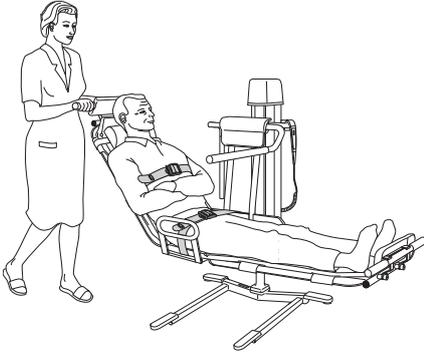
移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

患者にできる限り近づくよう *Bolero* リフト式入浴用トローリーをベッドの上に移動して、ベッドの上しっかりと静止するよう降下させます。(図1参照)

- 5 キャスターすべてにブレーキをかけます。(図2参照)
- 6 ストレッチャーの上に来るよう患者を横転させます。(図3参照)
- 7 背もたれを希望する角度まで起こします(必要に応じて背もたれ用部品を装備)。留め具が正しい位置にあり、背もたれがロックされていることを確認します。(図3参照)
- 8 胸部を安全ベルトで締め付けます。(図3参照)
- 9 ストレッチャーを少し上昇させて、安全ベルトを引き出して腰部を安全ベルトで締め付けます。ハンドルバーを下げます。(図4参照)

次のページのステップを続けます。

図 5



10 **警告**

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

キャスターブレーキを解放して、ベッドから *Bolero* リフト式入浴用トローリーを引き出します。

11 **警告**

患者が落下するのを防ぐため、患者の移動、着衣や脱衣を行う前に、製品が最低の位置にあることを常に確認するようにしてください。

警告

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときは固定されたものに気をつけてください。

快適な高さまで *Bolero* リフト式入浴用トローリーを降下させて、移動の間、移動ハンドルを持ちます。
(図 5 参照)

ベッドへ移動

(7ステップ)

警告

身体や物が挟まったり、衝突したりするのを防ぐために、移乗する経路に障害物がないことを確認してください。

警告

移動中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてのブレーキをかけるようにしてください。

警告

患者や介助者の足が挟まらないように、あらゆる障害物との間に十分な距離をとってください。

図 6

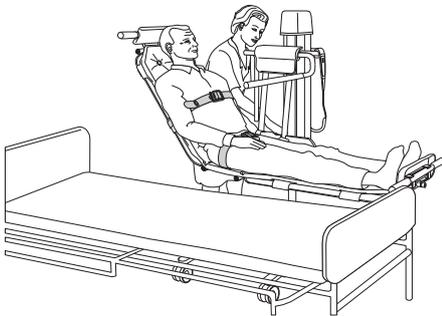
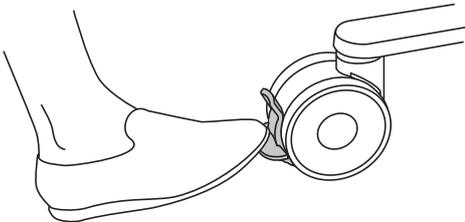


図 7



- 1 ベッド上に移動できる高さまで *Bolero* リフト式入浴用トローリーを上昇させます。
- 2 *Bolero* リフト式入浴用トローリーをベッド上に移動します。
- 3 ベッドにしっかりと静止するよう、*Bolero* リフト式入浴用トローリーを降下させます。(図 6 を参照)
- 4 キャスターすべてにブレーキをかけます。(図 7 参照)
- 5 安全ベルトを外します。

6 警告

怪我を防止するために、介助者がいること、および/または患者が横転する側のベッド上にサイドレールがあることを確認してください。患者がベッドの縁の近くに寝ている場合、患者を横転しないでください。

患者を横転して、*Bolero* リフト式入浴用トローリーからベッドへ移動します。

- 7 キャスターブレーキを解放して、ベッドから *Bolero* リフト式入浴用トローリーを引き出します。

患者の入浴

図1

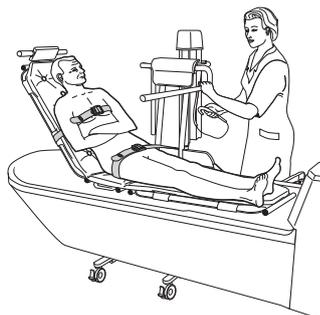


図2

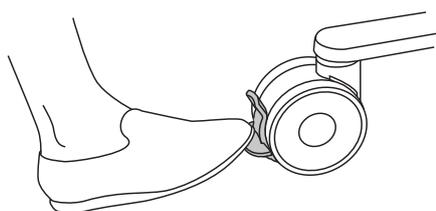


図3



図4

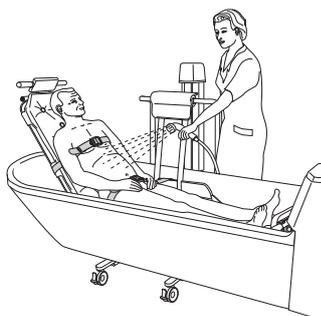
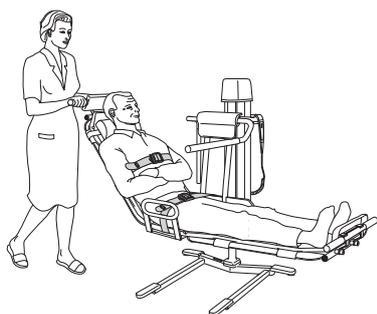


図5



最初にバスシステムの使用方法をお読みください。
(9ステップ)

注記

入浴の前に本使用方法の安全手順をお読みください。

警告

危険な状態に陥ることのないように、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

落下を防ぐために、入所者が本使用方法に従った位置にあることを確認してください。

- 1 患者の衣服を脱がせます。
- 2 浴槽の縁よりも上になるよう、*Bolero* リフト式入浴用トローリーを上昇させて、患者を浴槽の上に移動します。(図1参照)
- 3 キャスターすべてにブレーキをかけます。(図2参照)
- 4 浴槽が調整可能な場合、快適な高さまで浴槽を上昇させます。
- 5 浴槽の底に静止するよう、*Bolero* リフト式入浴用トローリーを降下させます。(図3参照)
- 6 胸部の安全ベルトを外し、腰部の安全ベルトを緩めます。
- 7 患者を入浴させます。
- 8 入浴後、腰部と胸部の安全ベルトを締め付けます。*Bolero* リフト式入浴用トローリーが水面より上になるように浴槽を降下させて、患者にシャワーします。(図4参照)
- 9 乾燥の後、体温が下がらないように患者に服などを着せます。キャスターブレーキを解放して、患者を*Bolero* リフト式入浴用トローリーに戻します。(図5参照)

クリーニングと消毒の手順

Arjo 製の消毒液のみを使用することをお勧めします。

製品の消毒に関してご質問のある場合、または消毒液を発注される場合、Arjo カスタマーサービスにお問い合わせください。

以下の手順は、リフトの使用後及び業務終了時に実施するようにしてください。

警告

目や皮膚の炎症を防ぐために、患者がいる所で決して消毒しないでください。

警告



目と皮膚の損傷を防ぐために、保護用めがねと手袋を必ず装着してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目と皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。消毒液の製品安全データシートを必ずお読みください。

警告

二次感染を防ぐために、常に本使用方法の消毒の手順に従ってください。

注意

製品の損傷を防ぐために、Arjo 製の消毒液を使用してください。

Bolero の消毒用アクセサリ

- 保護用手袋
- 保護用めがね
- スプレーボトルと消毒液（洗剤と消毒剤）、または消毒スプレーハンドルと消毒液（洗剤と消毒剤）
- スプレーボトルと水、またはシャワーハンドルと水
- 濡らした布と乾いた布
- 使い捨てタオル
- 毛先の柔らかいブラシ
- 毛先が柔らかく、長い柄の付いたブラシ

クリーニングと消毒を実施するために、ここに記載した 15 ステップに常に従ってください。

目視できる汚れの除去

(15 ステップのうち 1-3)

- 1 マットレスと安全ベルトを外して、浴槽の底に置いてください。
- 2 浴槽の上に *Bolero* リフト式入浴用トローリーを配置して、降下させます。

3 洗浄：

- *Bolero* リフト式入浴用トローリー（洗浄は上部から下方に向かって行う）

• 外された全ての部品

水で濡らした布で目に見える汚れを拭き取ります。必要であれば、水をスプレーしたり注ぎかけたりしながら、ブラシや清潔な布を用います。(図 1 参照)

洗浄・消毒

(15 ステップのうち 4-9)

- 4 保護用手袋とめがねを装着します。

5 消毒液のスプレー：

- *Bolero* リフト式入浴用トローリー

• 外された全ての部品

ブラシを使って汚れを十分に落とします（特にハンドルとハンドコントロール）。

- 6 シャワー（約 25 °C (77 °F)）を出すか、大量の水をスプレーまたは注ぎかけ、清潔な布で消毒液をすべて拭き取ります。(図 2 参照)
- 7 消毒液に浸した布で、他のすべての部分（シャーンなど）を拭きます。
- 8 水に濡らした新しい布で、他の部分から消毒液を完全に拭き取ります。消毒液を取り除くときは、適宜、流水で布から消毒液を洗い流してください。
- 9 消毒液を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去できるまで、繰り返し行います。

次のページのステップを続けます。

図 1

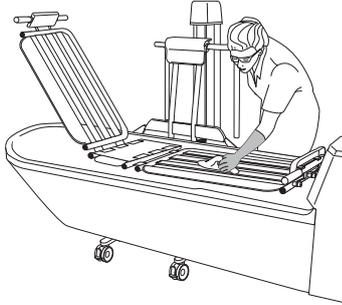


図 2



消毒

(15 ステップのうち 10-15)

10 消毒液のスプレー：

- *Bolero* リフト式入浴用トローリー
- 外された全ての部品

11 消毒液に浸した布で、他のすべての部分（シャーシなど）を拭きます。

12 消毒液容器のボトルに記載された指示に従って、消毒時間を設定してください。

13 スプレーまたはシャワー（約 25 °C (77 °F)）をかけて、清潔な布で消毒液をすべて拭き取ります：

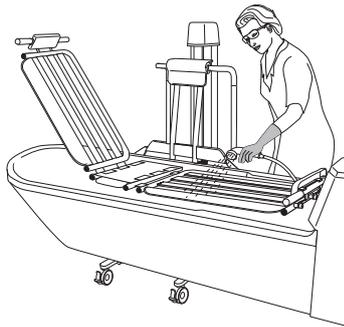
- *Bolero* リフト式入浴用トローリー
- 外された全ての部品
- その他のエリア全て（シャーシ等）

消毒液を除去するときは、適宜、流水で布から消毒液を洗い流す必要があります。（図 3 参照）

14 消毒液を除去できない部分があるときは、水をスプレーして、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去できるまで、繰り返し行います。

15 すべての部品を乾燥させます。

図 3



バッテリーの挿入手順

警告

怪我を防止するため、バッテリーへの衝撃、絶縁破壊、開封、分解、機械的な妨害を行わないでください。

- バッテリーケースが割れてバッテリー液が皮膚や衣類についた場合、直ちに水で洗い流してください。
- バッテリー液が目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医者診断を受けてください。

バッテリー液を吸引すると、呼吸器の炎症を引き起こす恐れがあります。新鮮な空気にて深呼吸し、医者診断を受けてください。

- バッテリーを落下させないように注意してください。
- バッテリーを破棄する際、地域の地方自治体の指示を受けてください。
- バッテリーのラベルをチェックしてください。

低電圧警告

- バッテリーに充電が必要な場合、リフトを作動させるとブザーが鳴ります。この時、作業を直ぐに完了させるのに十分なバッテリー電力は残っています。

バッテリーの保管

- バッテリーは充電された状態で納品されますが、少量の自己放電があるため、受け取ったらバッテリーを充電するようお勧めします。
- バッテリーは使用していないと徐々に放電します。
- バッテリーは、 $-0^{\circ}\text{C} \sim +30^{\circ}\text{C}$ ($32^{\circ}\text{F} \sim 86^{\circ}\text{F}$) の温度範囲で保管及び輸送する必要があり、低い温度ではサービス寿命が伸びます。
- 最大のバッテリー性能を得るには、 50°C (122°F) を超える環境でバッテリーを保管しないでください。

充電器の設置

NDA-X200 バッテリー充電器の使用方法をご覧ください。

バッテリーの充電方法

NDA-X200 バッテリー充電器の使用方法をご覧ください。

意図的に空白のままに

点検・保守やメンテナンス

Bolero リフト式入浴用トローリーは消耗するものであり、製品がメーカー仕様を維持するようにと明記してある場合、以下の措置を講じる必要があります。

警告

傷害事故をもたらす故障を防止するため、定期的な点検を実施し、推奨メンテナンススケジュールに従ってください。製品が酷使されている場合、あるいは苛酷な環境にさらされている場合、さらに頻繁な点検を実施してください。地域の規制や行政基準が、推奨メンテナンス計画よりも厳格な場合があります。

注記

患者に使用している間は、製品のメンテナンスや修理をすることはできません。

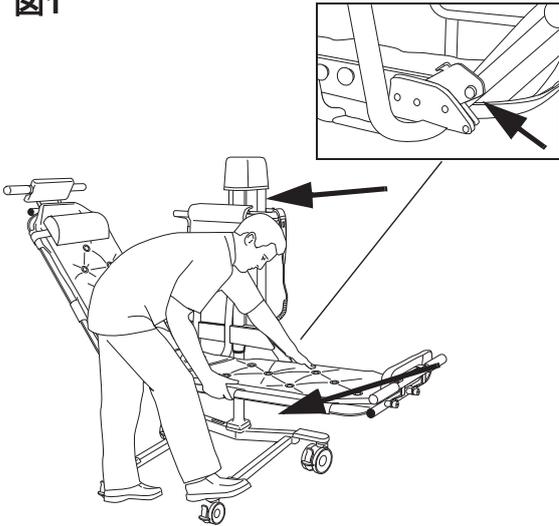
Bolero リフト式入浴用トローリーの予防メンテナンス

介助者の義務である措置/チェック	毎日	毎週	2年に1回
消毒	X		
露出部品すべての目視点検		X	
機械式アタッチメントの目視点検		X	
ハンドコントロールとケーブルのチェック		X	
キャスターのチェックと清掃		X	
ブレーキの点検		X	
マットレス/ピローの点検		X	
バッテリーチャージャーとバッテリーの目視点検		X	
安全ベルトの目視点検		X	
サイドサポートホルダー（付属品）の点検		X	
機能試験の実施		X	
安全ベルトの交換			X

警告

患者や介助者の怪我を防止するため、製品を改修したり、互換性のない部品を使用しないでください。

図1



介助者の義務

本使用方法の手順に従い、*Bolero* に関する十分な知識を持った担当者によって、介護人の義務を実施してください。

毎日

- 消毒 *Bolero* リフト式入浴用トローリーは使用後ただちに消毒しなければなりません。Arjo の消毒液は消毒ボトルに貼付されている推奨濃度で使用してください。クリーニングと消毒の手順 ページ 21 のセクションを参照してください。

毎週

- 露出部品、特に患者や介助者が触るすべての部品の目視点検を行ってください。患者またはユーザの障害の原因となる亀裂または鋭角部分が発生していないこと、非衛生的になっていないことを確認します。損傷した部品を交換してください。
- 機械式アタッチメントの目視検査は、足をシャーンに置いたり、両手でストレッチャーを上を引いたりして行います。隙間を許されません。全てのネジが緩んでいないことをチェックしてください。背もたれ調整留め具上のカバーが良好な状態にあり、適正に締め付けられていることをチェックしてください。両側の背もたれ固定機構をチェックしてください。(図1参照)
- ハンドコントロールとコードのチェック：ハンドコントロールとケーブルの状態の目視点検を行う。(図2参照)
- キャスターが適切に固定され、滑らかに回転・旋回するかチェックしてください。水で洗浄してください(床を掃除した際の石けん水、髪の毛、ほこり、化学薬品などによって機能に影響が及ぶ恐れがある)。(図3参照)
- キャスターのブレーキとキャスターブレーキレバーをチェックしてください。損傷した部品を交換してください。
- マットレスとピローをチェックして、充填材へ水が浸入する原因となるクラックや亀裂がないことを確認します。そのような損傷がある場合、損傷した部品を交換してください。(図4参照)

図 2

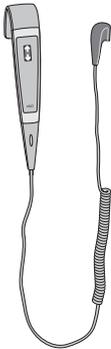


図 3

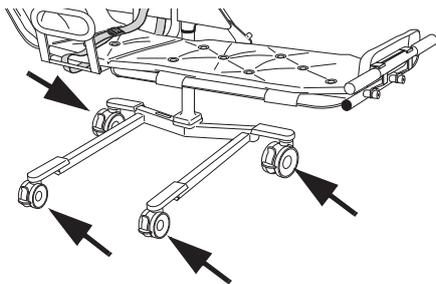
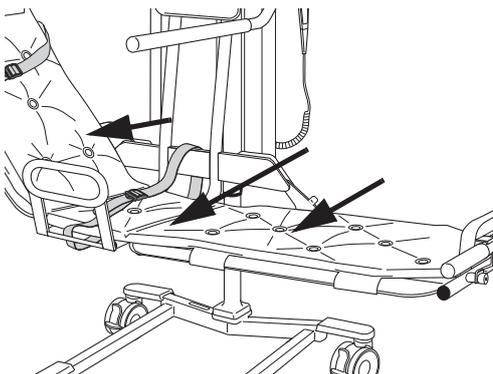


図 4



次のページのステップを続けます。

図 5

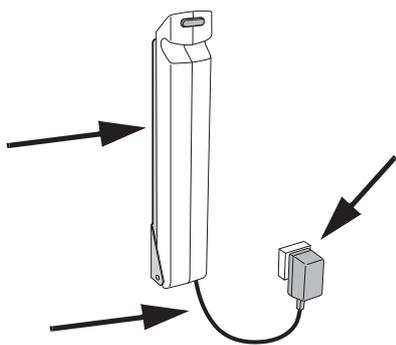
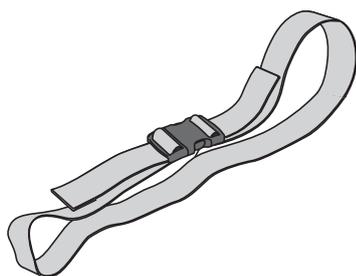


図 6

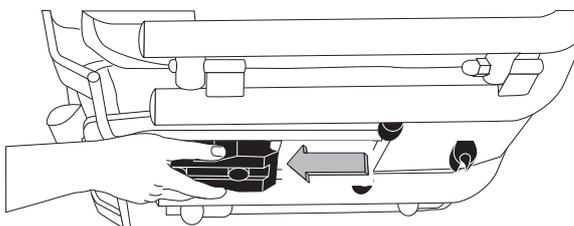


- バッテリー充電器、コード、バッテリーの状態の目視点検を行います損傷している場合、直ちに取り外して交換してください。(図 5 参照)
- 安全ベルトの目視点検：摩損、切れ目、ひび割れ、裂け目、内部繊維の見え、及び他の損傷がないかベルト全体を検査確認します。切れ目や破損が見つかった場合、交換してください。(図 6 を参照)
- サイドサポートホルダー（付属品）の機能は、ホルダーを手前に引くことでチェックします。その際、開放したホルダーは再び安全にロックするものとしてします。(図 7 参照)
- 機能試験を実施します。
上昇/降下ボタンを押して、上昇と降下の動作を試験します。緊急 高/低を試験します。

毎年

Bolero リフト式入浴用トローリーは、「有資格者による予防メンテナンス」のセクションに従って、保守点検サービスを実施する必要があります。有資格者による予防メンテナンス ページ 29。

図 7



有資格者による予防メンテナンス

警告

怪我を防止及び製品を安全に使用するため、正しい工具、部品及び手順の知識を有する、資格ある担当者により適切な頻度でメンテナンス作業を実施しなければなりません。有資格担当者は、本製品のトレーニングとメンテナンス文書を携帯する必要があります。

有資格者による措置/チェック	毎 1 回
内部プロファイルの注油	X
バッテリーとバッテリー充電器のチェック	X
オイルレベルのチェック（油圧）	X
重要な部品の腐食と損傷をチェック	X
フル機能テストの実施	X
機械式アタッチメントのチェック	X
最新の部品が使用されているかチェックしてください。	X
安全停止機能のチェック	X
安全耐荷重テストの実施（国内要求事項）	X
キャストターを検査	X
緊急 高/低機能のチェック	X
体重計校正のチェック	X
体重計用バッテリーのチェック	X
非常停止の機能チェック	X

注記

すべての介助者は有資格者によるサービスの実施時、適切に行われたか確認してください。

注記

表介助者の義務である措置/チェック ページ 26 のチェックポイントを実施する際は、その全てのチェックポイントを点検する必要があります有資格者による措置/チェック ページ 29。

トラブルシューティング

問題	対応措置
<p>ハンドコントロールボタンを開放した後も、リフトが上昇または降下を続ける。</p>	<p>赤色の非常停止ボタンを押し、バッテリーを取り外す - リフトから患者を降ろし、有資格者による点検を依頼する。</p>
<p>ハンドコントロールボタンを押しても、リフトが昇降しない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 バッテリーが完璧にバッテリーコンパートメントに収納されているか確認する。 2 ハンドコントロール接続プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認する。 3 バッテリーが充電されているか確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>警告</p> <p>怪我を防ぐために、絶対に患者の方を一人にしないでください。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 4 非常ロアリングで患者を降ろす。患者をリフトから降ろして、資格ある担当者へ連絡する。
<p>移動中、リフトの操作が困難である。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 全ブレーキが解放されているか確認する。 2 全キャスターが自由に回転および旋回するか確認する。 <p>そうでない場合、患者をリフトから降ろして、資格ある担当者へ連絡する。</p>
<p>持ち上げや移乗時、リフトから異音がある。</p>	<p>患者をリフトから降ろして、資格ある担当者へ連絡する。</p>
<p>リフトが操作されないと 1 分間に 1 回短い警報音を鳴らす。</p>	<p>有資格者に連絡してください。</p>
<p>リフトを降ろすことしかできない。</p>	<p>本製品の昇降装置は安全ナットを装備しています。安全ナットが作動した場合、製品は安全位置まで降下することのみ可能となります。このような場合、製品の使用を止めて、有資格サービス担当者に連絡してください。</p>

意図的に空白のままに

技術仕様

一般	
揚力	136 kg (300 lbs)
最大持上げ重量 (リフト+体重計)	
<i>Bolero</i> モデル CEB 6000 (油圧式)	69 kg (151 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 60XX (電動式)	78 kg (171 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 6100 (油圧式、小児用)	68 kg (149 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 61XX (電動式、小児用)	76 kg (167 lbs)
最大合計重量 (リフト+患者)	
<i>Bolero</i> モデル CEB 6000 (油圧式)	205 kg (451 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 60XX (電動式)	214 kg (471 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 6100 (油圧式、小児用)	204 kg (449 lbs)
<i>Bolero</i> モデル CEB 61XX (電動式、小児用)	212 kg (467 lbs)
ヘルスケア入浴機器	タイプ 
電源	バッテリー 番号 NDA 0100
バッテリー充電器	NDA 1200-EU、NDA2200-GB、NDA 4200-US、NDA 6200-AU と NDA 8200-INT
保護等級	IP X4 IP: 防水防塵保護等級 X: 物体の接触や侵入に対する保護は、本製品について規定されていません。 4: 本製品にどこから水がかかった場合でも、安全性や基本性能に影響はありません
ハンドコントロール保護等級	IP X7 IP: 防水防塵保護等級 X: 物体の接触や侵入に対する保護は、本製品について規定されていません。 7:1 メートルまでの浸水であれば、製品の安全性や基本性能に影響はありません。
ヒューズ	F1 F10AL 250 V
絶縁等級	等級 II と同等
音量	62 dB
操作モード	ED 最大 10% 最大 1 分オン 最小 9 分オフ
操作力:	
ボタンの押下	<5 N
緊急停止	20 N
ブレーキ	105 N
レバー	70 N
耐火等級	EN/ISO 60601-1 規格に準拠

コンポーネント重量	
バッテリー	4.4 kg (9.7 lbs)
体重計 (Bolero リフト式入浴用トローリー重量への追加重量)	9.5 kg (21 lbs)

使用可能な組合せ	
Bolero リフト式入浴用トローリーは以下の Arjo 製品と組み合わせて使用できます :	System 2000 Rhapsody、System 2000 Primo、System 2000 PrimoFerro
Bolero は一般的な病院用ベッドと組み合わせて使用できます :	フロアまでのクリアランスとして最低 150 mm を有するもの
その他の組合せは使用できません	

輸送、保管および動作 (充電器を除く全ての Bolero モデルに適用)	
周囲温度の範囲	-20°C ~ +70°C (-4°F ~ +158°F)、輸送時 -20°C ~ +70°C (-4°F ~ +158°F)、保管時 +10°C ~ +40°C (+50°F ~ +104°F)、動作時
相対湿度の範囲	10% - 80%、輸送及び保管時 15% - 100%、動作時
大気圧の範囲	500 - 1100 hPa、輸送時 500 - 1100 hPa、保管時 800 - 1060 hPa、動作時

環境	
汚染度	2

リサイクル	
梱包	木材と段ボール箱、リサイクル可

耐用年数後の廃棄	
<ul style="list-style-type: none"> 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。 補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。 電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。 スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品 (重量で 90% 以上が金属) は、金属としてリサイクルしてください。 	

寸法

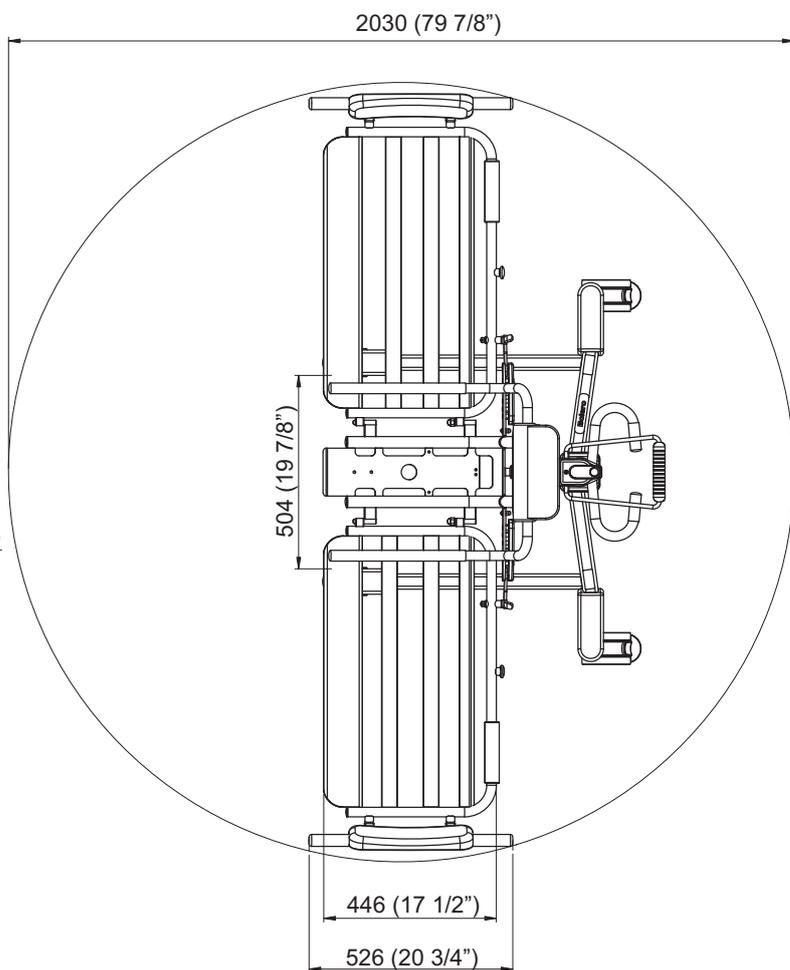
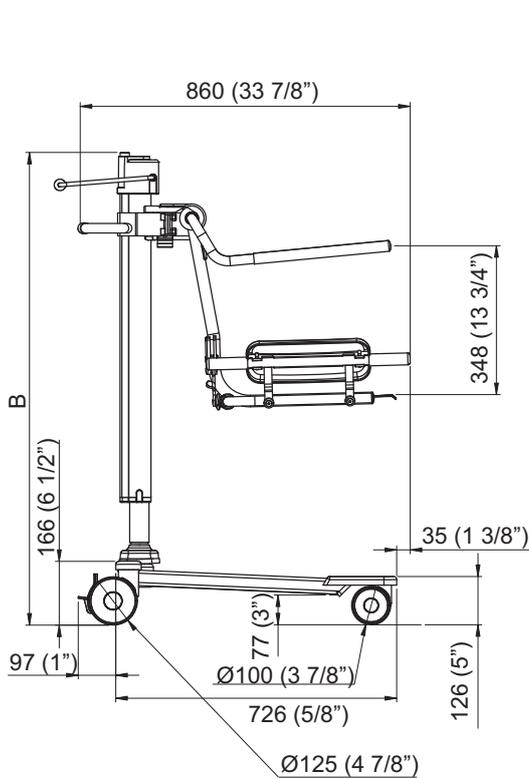
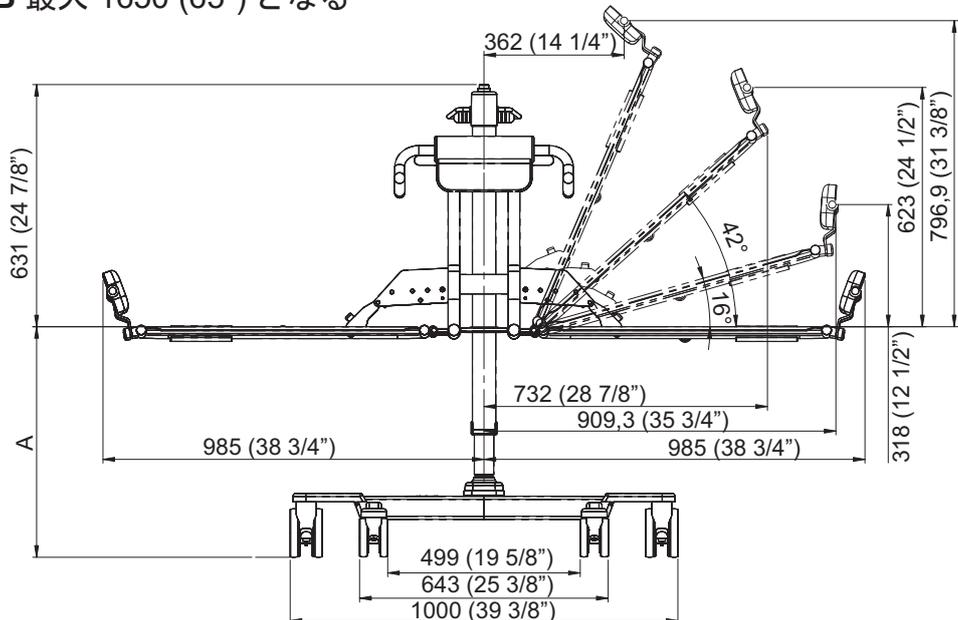
油圧式

mm (inches)

A 最小 515 (20 1/4") の場合、**B** 最小 1150 (45 1/4") となる

A 最大 1015 (40") の場合、**B** 最大 1650 (65") となる

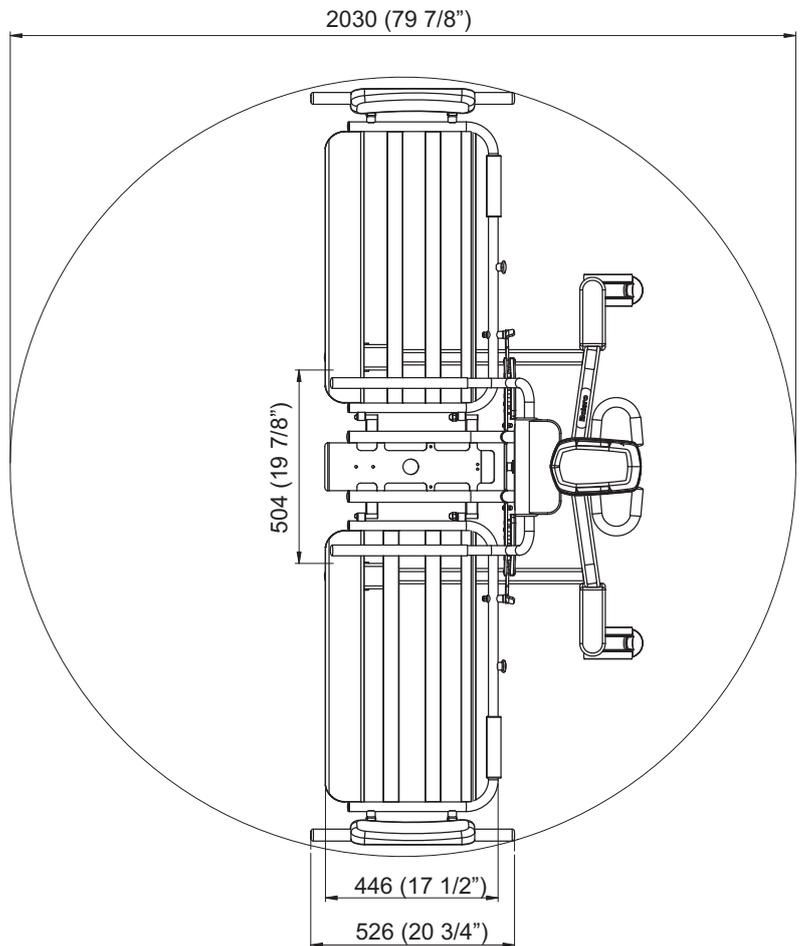
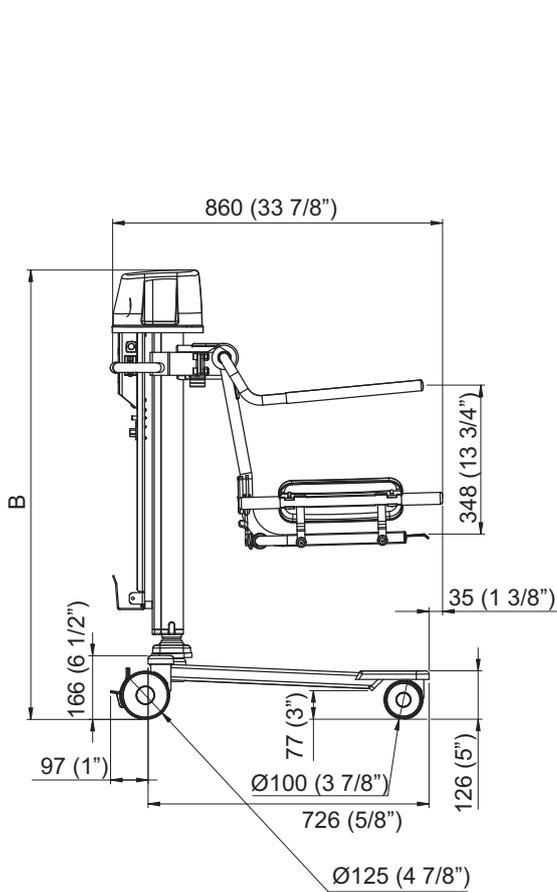
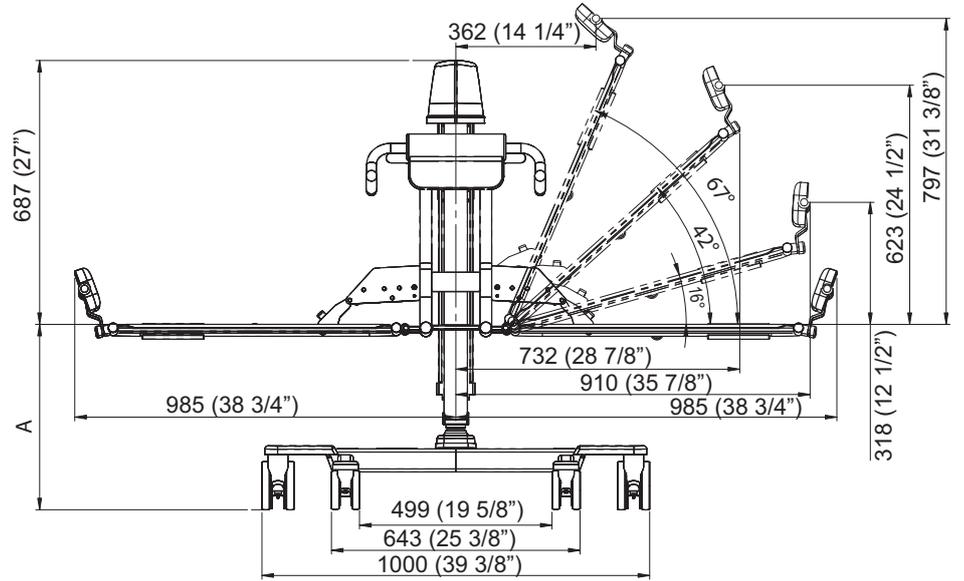
ストローク : 500 (19 5/8")



電動式

mm (inches)

A 最小 515 (20 1/4") の場合、**B** 最小 1165 (45 7/8") となる
A 最大 1080 (42 1/2") の場合、**B** 最大 1730 (68 1/8") となる
 ストローク : 565 (22 1/4")



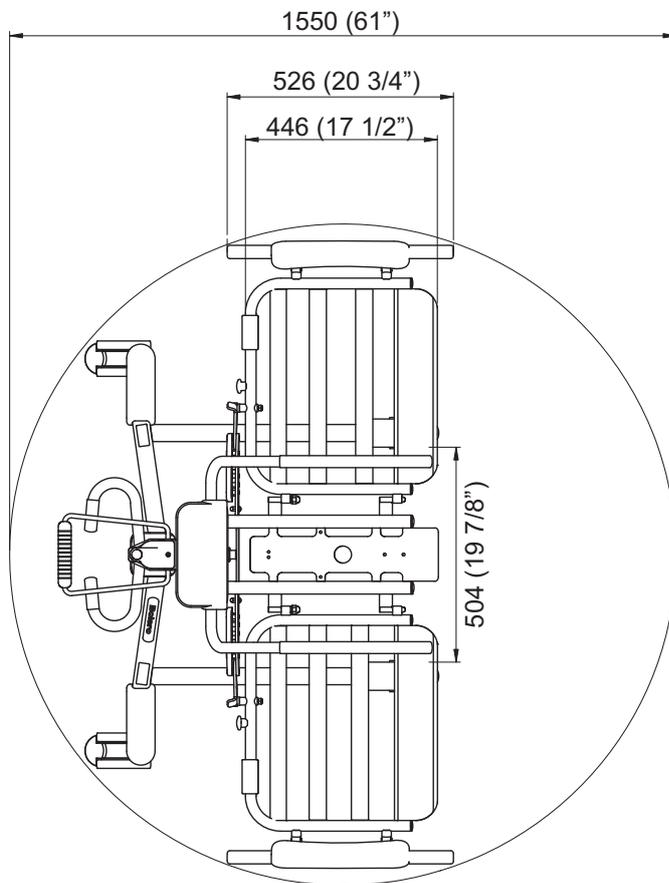
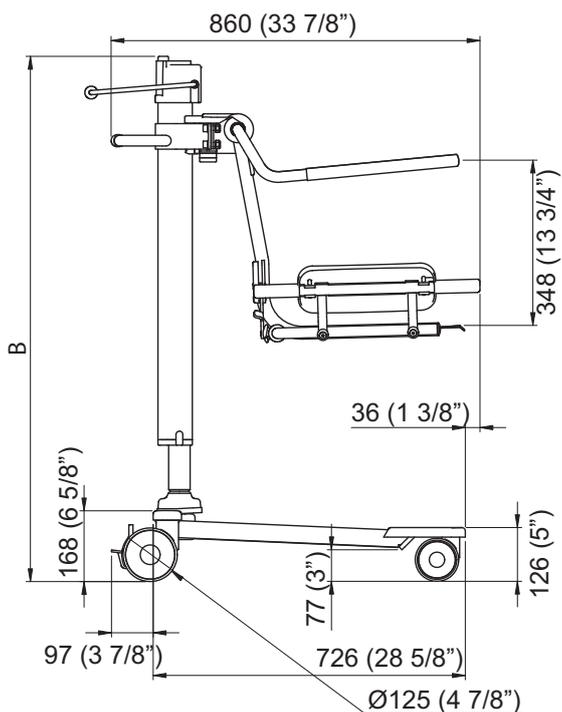
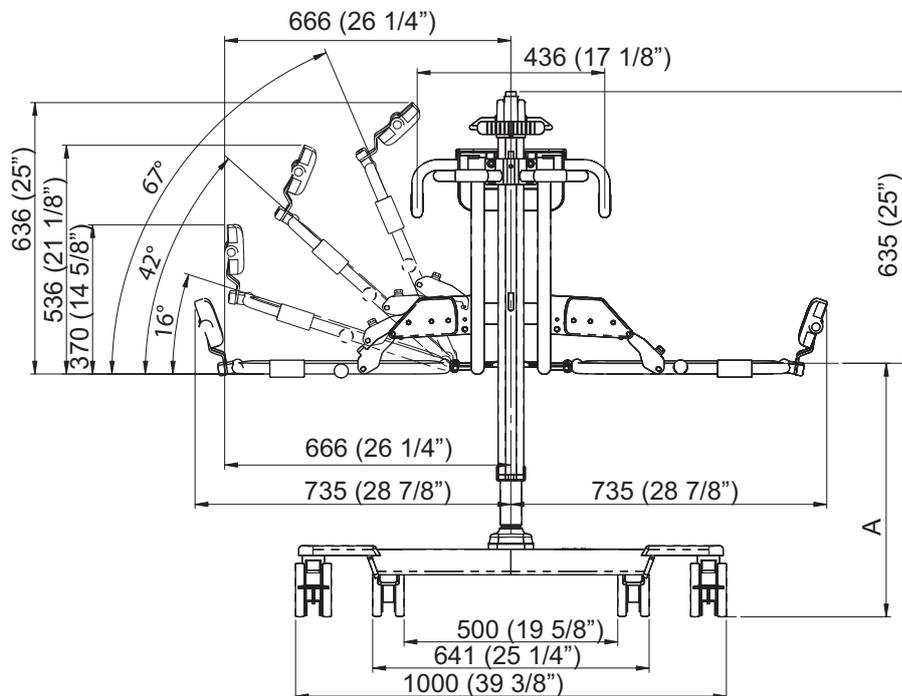
小児用油圧式

mm (inches)

A 最小 515 (20 1/4") の場合、**B** 最小 1150 (45 1/4") となる

A 最大 1015 (40") の場合、**B** 最大 1650 (65") となる

ストローク : 500 (19 5/8")



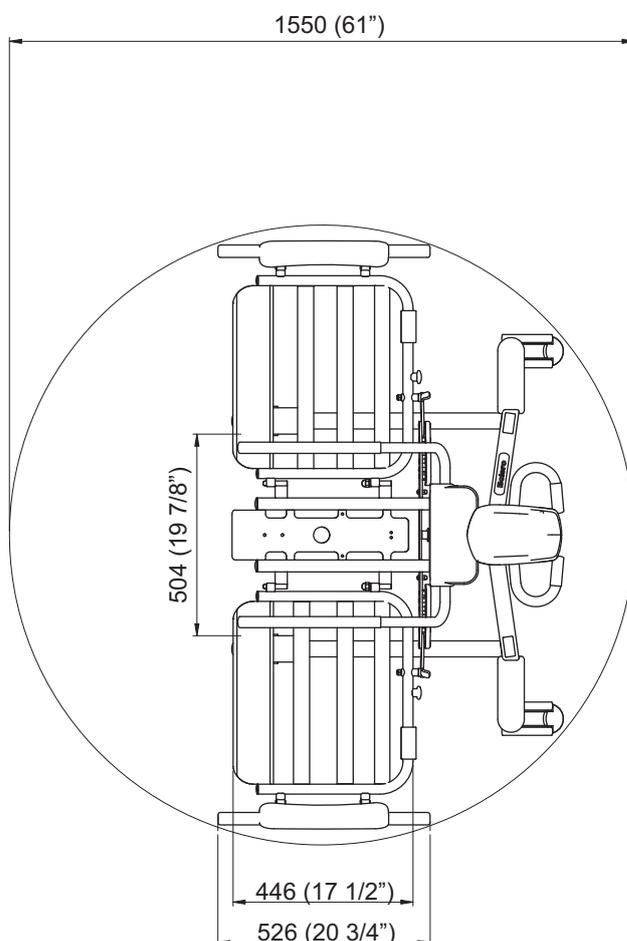
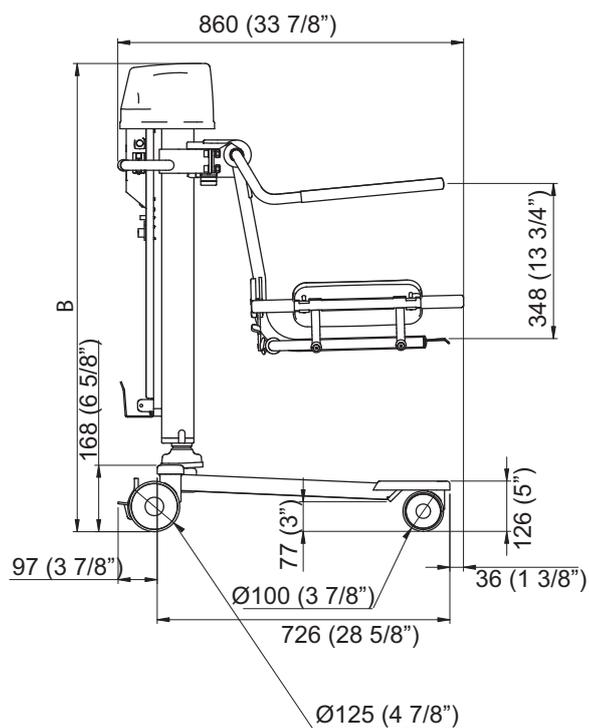
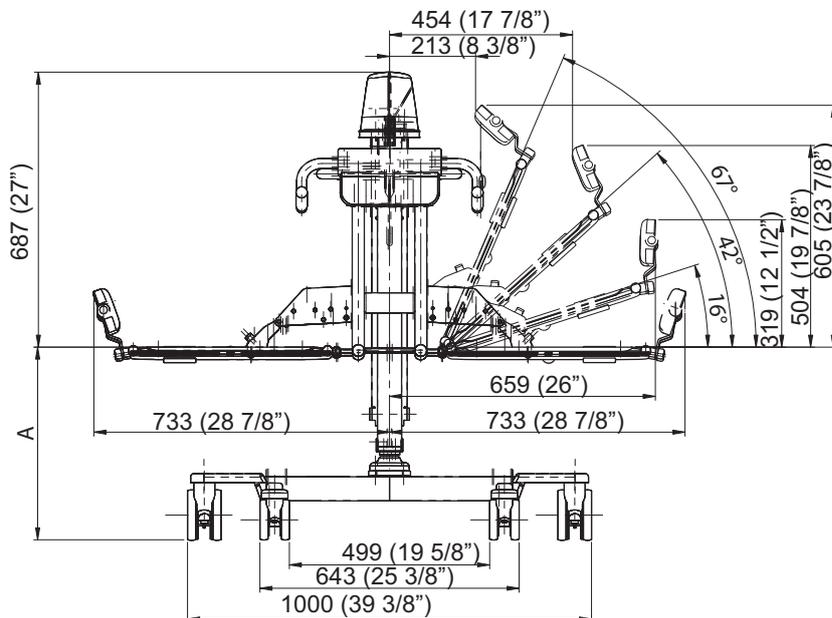
小児用電動式

mm (inches)

A 最小 515 (20 1/4") の場合、**B** 最小 1165 (45 7/8") となる

A 最大 1080 (42 1/2") の場合、**B** 最大 1730 (68 1/8") となる

ストローク : 565 (22 1/4")

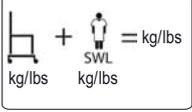


ラベル

ラベルの説明

注意ラベル	正しく使用するための重要なユーザ情報。
バッテリーラベル	バッテリーの安全性と環境的情報が記載されています。
データラベル	入力電力、入力電圧および患者の最大体重等の技術的性能と要件が記載されています。
識別ラベル	製品識別、シリアル番号および製造年と月が記載されています。

記号の説明

	B 等級、適用部品 : IEC 60601 に基づく感電に対する保護
SWL	安全耐荷重
	機器の全重量。安全使用荷重を含む。
	リフティングストローク
24V DC	供給電圧
最大 : 150 VA	最大電力
	ヒューズ F1 F10AL 250 V
IP X4	保護等級 (例、製品は水はね程度から保護されている)
1 min on/ 9 min off	高/低機能の操作モード： 最大 1 分オン 最小 9 分オフ
NDA0100-XX	バッテリー製品番号
	バッテリーは本製品の電源です

	EC 指令 2012/19/EU (WEEE) に基づく、リサイクル用電気及び電子コンポーネントの分別
	使用前に、使用方法をお読みください。
	環境危険 — 鉛を含有。 破棄対象品ではない
	リサイクル可
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング 図は、監督認証機関のトレードマークです。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した医療機器であることを示します。
	Underwriters Laboratories Inc による「承認と規格リスト」に準拠した、感電、火災、機械的危険及びその他の特定危険因子による分類。
	製造元の名称及び住所
	製造日



認証と標準規格リスト

認証と安全規格	説明
EN/IEC 60601-1:2005 AMD1:2012	医療用電気機器 – パート 1: 安全性と基本性能に関する一般的要件
ANSI/AAMI ES60601-1 (2005) AMD 1 (2012)	医療用電気機器 – パート 1: 安全性と基本性能に関する一般的要件
CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1:14	医療用電気機器 – パート 1: 安全性と基本性能に関する一般的要件
ISO 10535:2006	身体障がい者の移乗用リフト – 要件とテスト方法。

電磁両立性規格 (EMC)

本製品は、外部環境から EMI（電磁干渉）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁干渉の軽減に役立ちます。

- 機器の正しい機能を損ないかねない、放射の増加あるいは耐性の減少を回避するため、Arjo ケーブルおよび予備部品だけを使用してください。
- 患者のモニタリングおよび / または生命維持領域の他の装置が、認められた電磁気放射基準に準拠しています。

警告

無線コンピュータネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話およびその基地局、トランシーバーなどの無線通信機器は、本製品に影響を与えることがあるため、製品から少なくとも 1.5 m の間隔を置いて配置する必要があります。

意図された環境：専門ヘルスケア施設環境

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの高周波手術器具および RF シールドルーム

警告

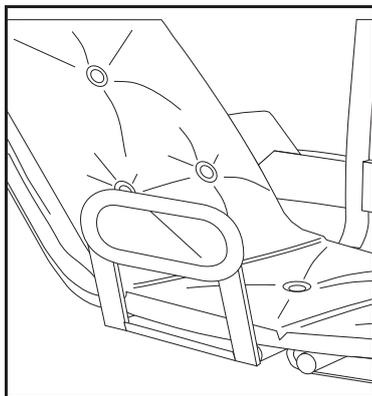
本製品を他の機器に隣接して、または他の機器と積み重ねて使用すると、誤作動することがありますのでやめてください。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常な作動を確認してください。

ガイダンスとメーカーの宣言 - 電磁界エミッション

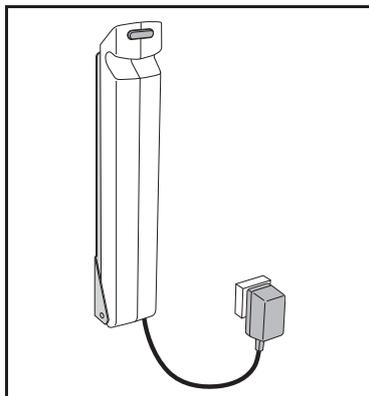
エミッション試験	法令準拠レベル	ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品は RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイダンスとメーカー宣言 - 電磁耐性			
耐性試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	法令準拠レベル	電磁環境 - ガイダンス
静電放電 (ESD) EN 61000-4-2	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	±2kV、±4kV、±8kV、 ±15kV 気中 ±8kV 接触	床はフローリング、コンクリートあるいはセラミックタイルにしてください。床が合成材に変更された場合、相対湿度は最低 30% にしなければなりません。
RF 場により惹起された電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM およびアマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	通信機の実地調査で判定される通り、固定 RF 発信機から磁界強度 1W ^a を超過する場合、携帯及びモバイル RF 通信機器は、ケーブルを含めて本製品のあらゆる部分から 1.0 メートルより近くで使用すべきではありません。固定 RF 送信機からのフィールド強度は、電磁サイト調査によって決定されている通り、各周波数範囲 ^b のコンプライアンスレベルよりも少ない値にしなければなりません。 この記号が記された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。 
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	専門ヘルスケア環境 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	専門ヘルスケア環境 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	
RF 無線通信機器の近接フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	
電気高速過渡 / 爆発 EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	
電源周波数磁場 EN 61000-4-8	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	30 A/m 50 Hz	電力周波数磁場は、一般商用または病院環境での典型的な場所での特性レベルである必要があります。
<p>^a 無線 (携帯 / コードレス) 電話と陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM/FM ラジオ放送局及び TV 放送局のような固定送信機による電界強度は、理論上、正確に予測することは不可能です。固定 RF 送信機による電磁環境を評価するには、電磁サイト調査の実施を検討するようにしてください。製品が使用される場所における測定電界強度が適用される RF 適合性レベルを超える場合は、製品を観察し、正常な操作を確認する必要があります。異常な性能が認められた場合、追加測定が必要になることがあります。</p> <p>^b 150 kHz ~ 80 MHz の周波数範囲外にある場合、電界強度は 1 V/m 未満でなければなりません。</p>			

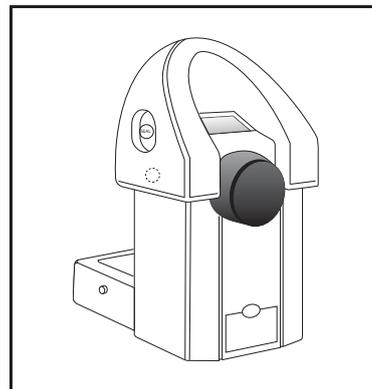
部品とアクセサリ



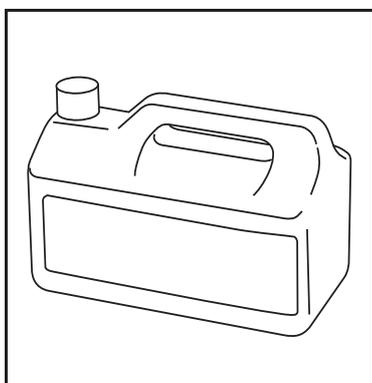
サイドサポート



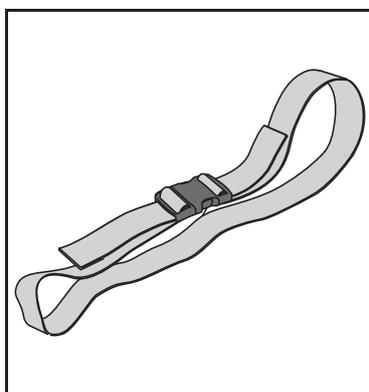
24 V バッテリーと充電器



体重計



消毒に関してのご質問
は、最寄りの Arjo 代理店
までご連絡ください



安全ベルト

AUSTRALIA

Arjo Australia Pty Ltd
78, Forsyth Street
O'Connor
AU-6163 Western Australia
Tel: +61 89337 4111
Free: +1 800 072 040
Fax: + 61 89337 9077

BELGIQUE / BELGIË

Arjo NV/SA
Evenbroekveld 16
BE-9420 ERPE-MERE
Tél/Tel: +32 (0) 53 60 73 80
Fax: +32 (0) 53 60 73 81
E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02 Galpão
- Lapa
São Paulo – SP – Brasil
CEP: 05040-000
Phone: 55-11-3588-5088
E-mail: vendas.latam@arjo.com
E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
90 Matheson Boulevard West
Suite 300
CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
Tel/Tél: +1 905 238 7880
Free: +1 800 665 4831 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 905 238 7881
E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
Na Strži 1702/65
140 00 Praha
Czech Republic
Phone No: +420225092307
e-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
Vassingerødvej 52
DK-3540 LYNGE
Tel: +45 49 13 84 86
Fax: +45 49 13 84 87
E-mail:
dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
Peter-Sander-Strasse 10
DE-55252 MAINZ-KASTEL
Tel: +49 (0) 6134 186 0
Fax: +49 (0) 6134 186 160
E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

Arjo Ibérica S.L.
Parque Empresarial Rivas Futura, C/Marie
Curie 5
Edificio Alfa Planta 6 oficina 6.1-.62
ES-28521 Rivas Vacia, MADRID
Tel: +34 93 583 11 20
Fax: +34 93 583 11 22
E-mail: info.es@arjo.com

FRANCE

Arjo SAS
2 Avenue Alcide de Gasperi
CS 70133
FR-59436 RONCQ CEDEX
Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
HONG KONG
Tel: +852 2960 7600
Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
Via Giacomo Peroni 400-402
IT-00131 ROMA
Tel: +39 (0) 6 87426211
Fax: +39 (0) 6 87426222
E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
Office 908, 9th Floor,
HQ Building, North Tower,
Dubai Science Park,
Al Barsha South
P.O Box 11488, Dubai,
United Arab Emirates
Direct +971 487 48053
Fax +971 487 48072
Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo BV
Biezenwei 21
4004 MB TIEL
Postbus 6116
4000 HC TIEL
Tel: +31 (0) 344 64 08 00
Fax: +31 (0) 344 64 08 85
E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
34 Vestey Drive
Mount Wellington
NZ-AUCKLAND 1060
Tel: +64 (0) 9 573 5344
Free Call: 0800 000 151
Fax: +64 (0) 9 573 5384
E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
Olaf Helset's vei 5
N-0694 OSLO
Tel: +47 22 08 00 50
Faks: +47 22 08 00 51
E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo GmbH
Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
A-1230 Wien
Tel: +43 1 8 66 56
Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
Tel: +48 61 662 15 50
Fax: +48 61 662 15 90
E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
MAQUET Portugal, Lda.
(Distribuidor Exclusivo)
Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
PT-1600-233 Lisboa
Tel: +351 214 189 815
Fax: +351 214 177 413
E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo AG
Fabrikstrasse 8
Postfach
CH-4614 HÄGENDORF
Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
Riihitontuntie 7 C
02200 Espoo
Finland
Puh: +358 9 6824 1260
E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
Hans Michelsensgatan 10
SE-211 20 MALMÖ
Tel: +46 (0) 10 494 7760
Fax: +46 (0) 10 494 7761
E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
Houghton Hall Park
Houghton Regis
UK-DUNSTABLE LU5 5XF
Tel: +44 (0) 1582 745 700
Fax: +44 (0) 1582 745 745
E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
2349 W Lake Street Suite 250
US-Addison, IL 60101
Tel: +1 630 307 2756
Free: +1 800 0 323 1245 Institutional
Free: +1 800 868 0441 Home Care
Fax: +1 630 307 6195
E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
東京都港区虎ノ門三丁目7番8号 ランディッ
ク第2虎ノ門ビル9階
電話 : +81 (0)3-6435-6401

Address page - REV 24: 04/2019

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797